

ケラ

「バツタ目ケラ科」

この約3センチの昆虫は、オケラと言ったほうが知っている方も多いでしょう。日本全国の田畑や河川敷など湿った土の中にトンネルを掘って生息しています。夏から秋にかけて日が暮れた田畑の周囲などを歩いてみると、地面の中からピーツという低い声が聞こえてきたことはないでしょうか。昔の人はこの声をミズの声と思い、俳句の秋の



ケラの成虫と前脚



季語にもされています。しかし、この声はケラのオスの声なのです◆ケラは平安時代から蝮蛄(けら)という名前で、農作物の根茎を食害することや水田にトンネルを掘ってしまふことなどから害虫として、またその可愛らしい様子から子どもたちの遊び相手としても知られていました◆ケラの前脚はよく見ると太い筋肉と太いツメで、まるでショベルカーのようです。哺乳類のモグラの前脚にも似ています。この前脚で力強く土を掘り進みます◆ケラは「鳴く」、「土を掘る」の行動のほかにも、飛んだり、泳いだり、走ったりすることが出来ます。蝮蛄才(けらさい)とか、蝮蛄茎(けらげい)などという言葉があります。これはケラがいろいろなことができるけれど、どれも中途半端というところから来たちよつと馬鹿にしたたとえです。しかし、こんなにたくさんの方ができる昆虫が他にいますか。ケラはスーパー昆虫なのかもしれません。

(林弥生子)

## もう曼珠沙華の見ごろを迎えている?!



▲暑かったり寒かったり、晴れたり曇ったり…もう秋だと勘違いしたのかな? それとも… (8月7日撮影)

7月中旬に丹精込めて植えた曼珠沙華の球根が、数週間後には花が咲き始めました。丹精を込めすぎてしまったがゆえに咲いたのか、そんな馬鹿な、というやりとりがあったかはさておき調べた結果、曼珠沙華は別名「彼岸花」と呼ばれるように9月に見ごろを迎えますが、今回植えた球根の一部に早咲きの品種があり、それが開花したものだと思われまふ。植えた場所ごとに異なる品種の球根を(意識して?!無意識に?!)植えたので、結果的にさくらの山公園は曼珠沙華の見ごろが何度も訪れることになりました。

今、さくらの山公園に行っても、来週行っても、再来週に行っても、曼珠沙華が優美な姿でみなさんを迎えてくれる…かもしれません。

### 人口と世帯

8月1日現在  
( )は前月比

総人口	12,474人(- 8)
男性	6,224人(+ 4)
女性	6,250人(-12)
世帯数	4,932世帯(+ 6)

### 9月の納税

固定資産税 第3期  
国民健康保険税 第3期  
(9月30日まで)

バーコード印字のある納付書をお持ちの方は、納期限内であれば、コンビニエンスストアで納付することができます。

詳細は納付書をご覧ください。

### 【お詫びと訂正】

8月号の13ページの最下段『シエイクアウト訓練のお知らせ』の記事において、『8月31日(土)』と表記すべきところを『8月31日(日)』と表記してあります。訂正し、ご迷惑おかけした皆さまに深くお詫び申し上げます。

防災行政無線  
テレホンサービス

TEL 0800-800-8099

10月1日から  
夕方の定時放送「七つの子」の  
放送時刻が変更になります

放送時刻 午後4時30分

(10月1日~3月31日)

夕方の定時放送は防災行政無線が毎日正常に稼働するかの確認のほかに、みなさんの夕暮れ時をお知らせするために放送しています。最近、子どもが犯罪に巻き込まれる事件が増加していますので、この放送を子どもの帰宅時刻等の目安にしてください。

総務課

自治振興担当

TEL内線 215